

中台小だより

成田市立中台小学校

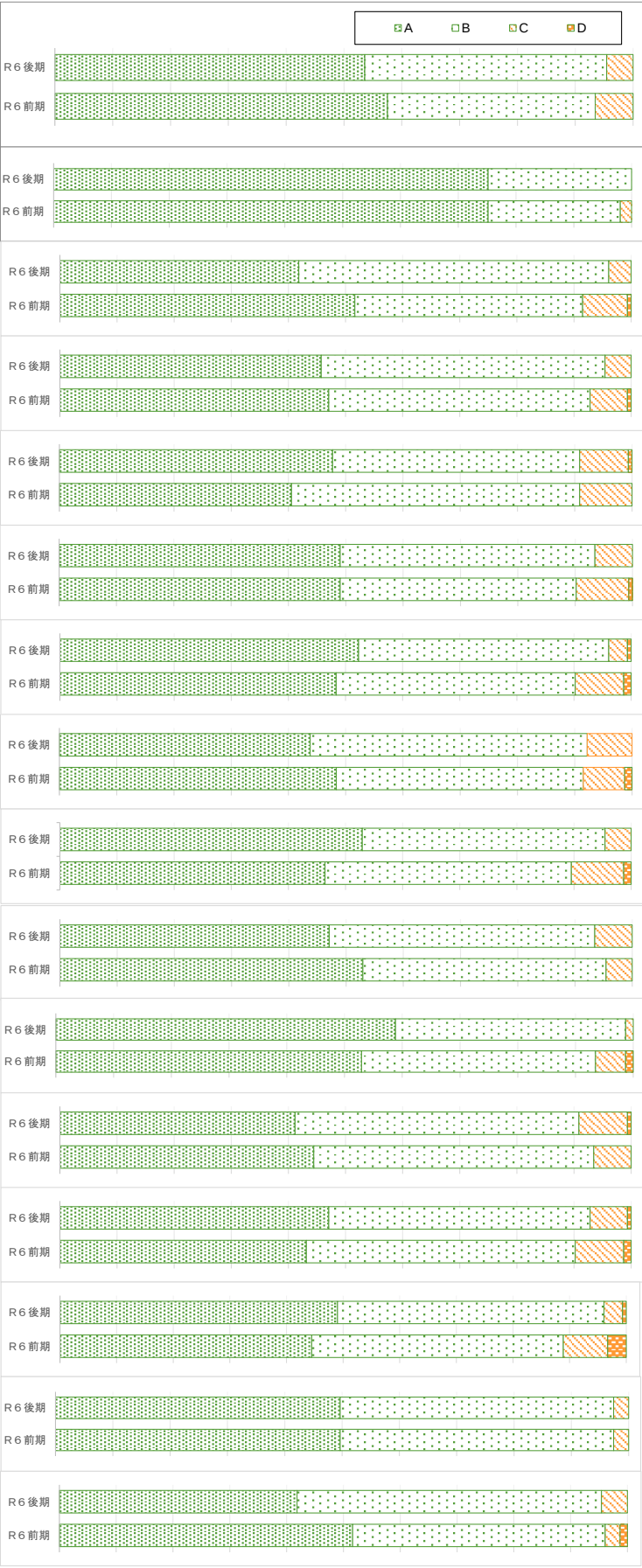
令和7年 3月10日発行



区分		項目	実施期	評価					AとBの割合	CとDの割合	補正値(Eを除いた割合)	
				A	B	C	D	E			A+B	C+D
Ⅰ. 家庭との連携情報の公開	1	学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。	R6後期	51.3%	40.0%	4.4%	0.0%	4.4%	91.3%	4.4%	95.4%	4.6%
			R6前期	55.0%	34.4%	6.3%	0.0%	4.4%	89.4%	6.3%	93.5%	6.5%
	2	授業や行事等を参観する機会を十分設けている。	R6後期	71.9%	23.8%	0.0%	0.0%	4.4%	95.6%	0.0%	100.0%	0.0%
			R6前期	71.9%	21.9%	1.9%	0.0%	4.4%	93.8%	1.9%	98.0%	2.0%
	3	非常災害等の緊急時に備え、学校と家庭との連携ができています。	R6後期	40.0%	51.9%	3.8%	0.0%	4.4%	91.9%	3.8%	96.1%	3.9%
			R6前期	49.4%	38.1%	7.5%	0.6%	4.4%	87.5%	8.1%	91.5%	8.5%
	4	学校は、保護者とともに児童を育成することができるように、お子様や学校の様子を丁寧に発信・連絡している。	R6後期	43.8%	47.5%	4.4%	0.0%	4.4%	91.3%	4.4%	95.4%	4.6%
			R6前期	45.0%	43.8%	6.3%	0.6%	4.4%	88.8%	6.9%	92.8%	7.2%
Ⅱ. 学習活動について	5	学校は、学力向上のための取組を行っている。	R6後期	45.6%	41.3%	8.1%	0.6%	4.4%	86.9%	8.8%	90.8%	9.2%
			R6前期	38.8%	48.1%	8.8%	0.0%	4.4%	86.9%	8.8%	90.8%	9.2%
	6	学校は、子どもが読書に親しむための取組を行っている。	R6後期	46.9%	42.5%	6.3%	0.0%	4.4%	89.4%	6.3%	93.5%	6.5%
			R6前期	46.9%	39.4%	8.8%	0.6%	4.4%	86.3%	9.4%	90.2%	9.8%
	7	学校は、家庭学習が習慣化するための取組を行っている。	R6後期	50.0%	41.9%	3.1%	0.6%	4.4%	91.9%	3.8%	96.1%	3.9%
			R6前期	46.3%	40.0%	8.1%	1.3%	4.4%	86.3%	9.4%	90.2%	9.8%
Ⅲ. 健康指導など生徒指導	8	学校は、子どもがきまりや約束を守って生活できるように指導を行っている。	R6後期	41.9%	46.3%	7.5%	0.0%	4.4%	88.1%	7.5%	92.2%	7.8%
			R6前期	46.3%	41.3%	6.9%	1.3%	4.4%	87.5%	8.1%	91.5%	8.5%
	9	学校は、児童の道徳心や人権意識を高め、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	R6後期	50.6%	40.6%	4.4%	0.0%	4.4%	91.3%	4.4%	95.4%	4.6%
			R6前期	44.4%	41.3%	8.8%	1.3%	4.4%	85.6%	10.0%	89.5%	10.5%
	10	学校は、子どもの健康増進・体力の向上に向けた取組を行っている。	R6後期	45.0%	44.4%	6.3%	0.0%	4.4%	89.4%	6.3%	93.5%	6.5%
			R6前期	50.6%	40.6%	4.4%	0.0%	4.4%	91.3%	4.4%	95.4%	4.6%
	11	学校は、児童一人一人の持っている良さや可能性を伸ばしている。	R6後期	56.3%	38.1%	1.3%	0.0%	4.4%	94.4%	1.3%	98.7%	1.3%
			R6前期	50.6%	38.8%	5.0%	1.3%	4.4%	89.4%	6.3%	93.5%	6.5%
	12	学校は、児童や保護者・地域の声を受け止め、親身になって対応している。	R6後期	39.4%	47.5%	8.1%	0.6%	4.4%	86.9%	8.8%	90.8%	9.2%
			R6前期	42.5%	46.9%	6.3%	0.0%	4.4%	89.4%	6.3%	93.5%	6.5%
Ⅳ. 学校行事など	13	学校は、子どもが楽しめる活動内容を工夫している。	R6後期	45.0%	43.8%	6.3%	0.6%	4.4%	88.8%	6.9%	92.8%	7.2%
			R6前期	41.3%	45.0%	8.1%	1.3%	4.4%	86.3%	9.4%	90.2%	9.8%
	14	学校は、児童個々の実態に応じた支援の手立てや合理的配慮、校内体制がとられている。	R6後期	46.9%	45.0%	3.1%	0.6%	4.4%	91.9%	3.8%	96.1%	3.9%
			R6前期	42.5%	42.5%	7.5%	3.1%	4.4%	85.0%	10.6%	88.9%	11.1%
Ⅴ. 環境	15	学校は、児童の豊かな心を育むにふさわしい教育環境を整えている。	R6後期	47.5%	45.6%	2.5%	0.0%	4.4%	93.1%	2.5%	97.4%	2.6%
			R6前期	47.5%	45.6%	2.5%	0.0%	4.4%	93.1%	2.5%	97.4%	2.6%
	16	学校は、地域人材やボランティアを活用した教育環境を整え、社会体験活動を十分に行っている。	R6後期	40.0%	51.3%	4.4%	0.0%	4.4%	91.3%	4.4%	95.4%	4.6%
			R6前期	49.4%	42.5%	2.5%	1.3%	4.4%	91.9%	3.8%	96.1%	3.9%

令和6年度後期学校評価アンケートの結果について

お忙しい中、学校評価アンケートに御協力いただき、感謝申し上げます。
今回は、電子回答で実施しました。前期と比べ母数となる児童数が増えたこと、また、無回答・未提出が増えましたので単純に回答数では比較できません。回答割合（無回答・未提出を除いた数値）で分析いたしましたこと、御了承ください。
【評価Aは十分達成、Bは概ね達成、Cはどちらかという達成できていない、Dはほとんど達成できていない、Eは未提出（無回答）】



《分析》

(1)昨年および前期に引き続き、ほとんどの項目（16項目中13項目）で、肯定的な回答が9割を超えています。 学校の取り組みは、保護者の皆様から一定のご理解をいただけていると考えます。

特に高い（A＋B 95%以上）項目（緑色枠）

①教育方針の説明 ②参観機会の確保 ③緊急時の連携 ④情報発信 ⑦家庭学習
⑨人権意識の向上・いじめのない学校づくり ⑪可能性の伸長 ⑬個に応じた指導、合理的配慮
⑮豊かな心の育成 ⑯ボランティア・地域人材の活用

(2)さらなる高みを目指し、工夫が必要なご指摘を頂いた項目が3点ありました。

▼前期に比して数値が低下している項目。（赤色枠）

⑩体力向上 ⑫親身な対応 ⑭ボランティア・地域人材の活用

⇒⑩後期は「体力向上」策として、教科体育の充実を図りつつ、マラソン・縄跳び等でイベント（校内マラソン大会・チャレンジ縄跳び）を開催し、児童の意識を高めつつ継続した体力づくりを行いました。4・5年児童は「陸上運動」をチームティーチングで指導しています。また、千葉県教育委員会主催の「遊友スポーツランキング」に挑戦するクラスもあります。

⇒⑭文部科学省の掲げる「地域とともにある学校」を目指し、下記の活動で地域ボランティアの皆さんにご指導いただきました。ご紹介します。

・下校指導（毎日） ・学習支援（水泳・稲作・裁縫・ミシン操作・算盤・落語実技・書き初め など）
・イベント支援（緑道花壇整備・まち探検・昔遊び など） ・読み聞かせ（週1回） ・除草・草刈り（随時）

⇒改善・努力事項として、職員の体制・対応を見直すとともに、保護者の皆様と連携して、子どもたちが達成感のある活動を創り上げてまいります。

自由記述より

①担任によって宿題の内容や量に偏りがあると感じています。そういった面で家庭学習の定着にはつながらないと感じます。
⇒学習指導要領では「家庭と学校が連携を図りながら、子どもの学習習慣を身に付けさせることや、予習・復習、宿題など、家庭学習の取組の重要性（千葉県教育委員会HPより）」が指摘されています。
⇒来年度に向けて、御家庭と学校が連携できるよう家庭での学習の目安となる「手引き」を作成してまいります。

②タブレット学習の浸透により、きちんとノートに字を書く習慣や機会が減っていると思う。せめて低学年の内はきちんと文字や文章を書けるようになるまでタブレット学習の頻度は極力控える等、年齢に沿って指導して欲しい。
⇒児童に貸与されているタブレット端末は、個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するものであり、特別な支援が必要な子どもたちの可能性も大きく広げるものです。ここで大切なことは、タブレットを使うことが学習ではなく、学びを深めるためにタブレットは活用されるものです。あえて言うならば、文字や文章を書くためのタブレット端末ではありません。情報化・グローバル化が進展する先行き不透明な時代を生き抜く児童に対して、バランスのとれた資質・能力を育む必要があります。
⇒文字を書く、文章を書く学習も確実に展開しつつ、次代を担う世代に必要となる資質・能力の育成を続けてまいります。学びの定着のためにも、学校の学びと御家庭での学び（家庭学習）の両輪で、バランスのとれた資質・能力を育んでいきませんか。

③連絡帳は煩雑なので、注意事項などはマチコミを通じて保護者に連絡をしてほしい。
⇒マチコミメールは、一斉連絡ツールとして設計・運用されています。また、マチコミシステムの運用者は、セキュリティの観点から教頭・校長（不在時は情報主任）のみとしており、担任が自由に運用することは想定していません。
・現状では、学校から御家庭に連絡が通じないときに限り、管理職が担任からの情報をもとに必要性を判断した上で、マチコミ個人メール連絡をしています。
・上記を御理解いただいた上で、マチコミ個人メール連絡を御希望の場合は、次の2点を御了承の上、学校までご連絡をください。
①即時連絡とならないこと ②担任とのやりとりは管理職が介在すること

④月に行事は1回までだとありがたい。
⇒行事の分散化を心がけておりますが、2月に関しては、例年3月初頭に行う「6年生を送る会」が2月末開催となったため、上旬実施のオープンスクールと同月実施になってしまいました。申し訳ございません。1月の「第5回つわぶき学級」、3月には卒業式も予定されていたため、同等の間隔を空けながら行事を計画したことをお詫びいたします。
⇒学校の様子を見ていただく機会を増やそうと考え、御招待する回数が増えてしまい、御迷惑をおかけすることとなります。よい解決案を御提示くださるとありがたく存じます。

【いただいた御意見】

・学校公開について ・学習指導・支援のあり方 ・家庭学習のあり方 ・担任の指導について など
・学年からのたよりについて ・行事予定について

御回答・御意見、ありがとうございました。学校のみでは改善できない事柄もありますが、皆様の御意見を真摯に受け止め、今後の教育活動を進めてまいります。
全ては子どもたちのために、地域から信頼される魅力ある学校を目指して、教職員一同、日々精進してまいります。今後とも御協力をお願いいたします。
また、御意見以外にも、本校の教育や教職員への感謝・励ましの言葉もたくさんいただいたこと、感謝申し上げます。
【問い合わせ】教頭（佐藤）